

平成 29 年度版 家庭での備え

(ホームタウンの防災対策)

1. 自分と家族を守る基本動作（まず生き延びる）

同封の地震災害発生直後の「基本動作の栞（2 版）」を常に確認して下さい。平素からご自身や家族が確認できる目線が届くところに掛けておいて下さい。

2. 安否確認プレートの使用（ご家族が無事であることを近所に知らせる）

- ・ご家族の安否をご近所や自主防災会に知らせる重要な手段です。家族・家屋の安全が確保出来ている場合、玄関扉又は表門の鍵ノブに掛けて下さい。
- ・日頃から玄関扉内側や下駄箱扉の取っ手に掛けておいて下さい。防災アンケートで 2% の世帯が「配布されていない、紛失した」と回答がありました。自治会総務部又は自主防災会に連絡願して下さい、お届けします。



3. 同封ホームタウン防災マップの確認

- 1) ホームタウンの防災対策の基本は、司令塔の防災センターと 4 ブロックで構成する体制です。お宅の所属ブロックとブロック担当の防災委員を確認して下さい。防災マップに防災委員の名前、自宅電話番号を記載しています。
- 2) 緊急災害時の対応について、防災マップ下段の“各自の行動”“自主防災会の活動”を参照して下さい。
 - ・緊急災害時、ブロックの防災委員担当の指示に従い、協力委員及び当該年度の役員・班長と一緒に初期消火、安否確認、救出・救援、状況把握等の活動をお願いします。
 - ・班が共助（近助）の単位です。平素より“ほどよい距離感”で隣人に関心を持ち、困っている時にはお互いに助け合いましょう。

4. 防災センターはコミュニティ・ハウスに下記条件で立ち上げます

災害の種類	防災センター立ち上げ条件
地震	・震度 5 強以上
集中豪雨	・1 時間当たり雨量 50 mm 以上 ・記録的短時間大雨注意報、特別警報の発表時
津波	・大津波警報発表時（想定し難いが、万一に備えて）
その他	・自主防災会が必要と判断した時

- ・自主防災活動の司令塔として、地位内各ブロックと市災害対策本部の窓口となります。情報センター、救急センターとしても機能します。

5. ホームタウンの避難先

災害の種類	* 1 ホームタウンの避難先	避難先の種類
地震	屋敷小学校体育館（教室も耐震化）	指定避難所 一定期間避難者を収容・保護する学校施設
* 2 津波	大久保東小学校体育館（教室も耐震化）	
* 2 集中豪雨	本大久保会館（本大久保 4-15-1） あけぼの町会管理下 電話 475-1763	地元避難場所 自宅に留まるのが基本、浸水後の避難は危険
各種災害	市が契約する特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等 屋敷小学校区では； ・マイホーム習志野 ・東部福祉センター	福祉避難所 一般避難所では対応不可の要配慮者を収容・保護
火災・延焼 地震災害等	緊急時一時避難先 ・屋敷小学校校庭 ・ホームタウン内の公園利用 本大久保 1 号児童公園、2 号児童公園	一時避難場所 火災や地震発生で一時的に避難又は応急手当てを施す場所

* 1 屋敷小学校が最もホームタウン防災センターに近く連携しやすいのですが、低地に位置する為、想定外の津波や集中豪雨による大浸水発生に備え、別途避難所を設けています。

* 2 本大久保保育所は 31 年度に移転する予定です。 更に高い位置にあり使いやすい本大久保会館に変更しました。
事前に特別警報等で避難勧告等が出された場合、市と連携し避難行動を支援します。

AED 使用についてのお知らせ

- ・ 取付け位置：コミュニティハウスの玄関入って左側下に設置しました。
- ・ 使用 者：自治会員全員（誰でも使用可能ですが、開錠が必要な為）。
- ・ 使用対象者：緊急救命処置が必要と思われるどなたに対しても使用可能です。
- ・ 使用後処置：元の場所に返却して、近隣の防災委員に連絡して下さい。
⇒次の使用に備えてメンテナンスを行います。
- ・ 管 理 者：自主防災会

各ご家庭での平素の備え

①初期対応備品

- ・ 消火器：絶対「火元」にならないように心掛けて下さい。
- ・ 災害時は携帯電話（特にメール）、公衆電話が有効です。
自治会内緊急情報はホームタウン防災ネットにアクセスして下さい。

携帯電話 : <http://www.e-ohkubo.net/jichikai/i/> ⇒
PC・スマホ : <http://hometown.network/bousai/>



② 災害復旧までの生活を支える備蓄品

- ・ 自主防災会では、最低限の食料、飲料水、炊飯袋と煮炊き用資機材を備蓄していますが、全会員の必要量は賄えません。
- ・ 備蓄については、同封の“災害防災チェックシート”を是非見て下さい。